



●本日の司会

（本田 征勇 SAA）



●開会点鐘

（岡野 景子会長）

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●会務報告

（岡野 景子会長）



皆様、こんばんは。残りあと 2 回の例会となりました。

先週の 6 月 13 日（木）に立川のエミシアで多摩中グループ会長幹事引き継ぎ会が行われ、田畑会長エレクト、岡野次年度幹事、指田幹事、事務局の羽鳥さんと私で出席をしてみました。参加者の皆さん、これから新しいスタートを切る方と、任期を終える方の顔の表情の違いが少し印象的でしたが、二次会では当クラブ幹事の指田さんがサザンオールスターズの曲で盛り上げてくれました。また、その後岡野さんがマツケンサンバをダンスをしながら歌い、会場はさらに盛り上がりました。ありがとうございました。

来週はいよいよ最終例会となりますので、ぜひ皆様ご参加いただきたいと思ひます。

●幹事報告

（指田 裕士幹事）



会長のお話にもありました多摩中グループ会長幹事引き継ぎ会ですが、二次会で自分で歌ってそこそこ盛り上げたなと思ひいたら、その後、岡野さんのパフォーマンスがあり、これで幹事の任期が終わるんだなと寂しく感じました。

前回お話しした佐伯さんの件ですが、本日佐伯社長とお話しすることが出来ました。順調に回復しており、リハ

ビリも始めています。今後、近くの病院に転院する予定と聞いています。

先日、神野会員が渋谷ロータリークラブへメイクアップへ行かれたそうで、その際、バナー交換をしたとのことでした。

本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。

●各委員長活動報告 Part II

若杉 司クラブ管理運営委員長



基本方針といたしまして、各委員長の活動を支援し、事業計画を達成できるよう努力してまいりました。私は委員会のまとめ役として 1 年間全力を尽くしてまいりましたが、その詳細は後ほど各委員長の皆様にお聞きしたいと思ひしております。炉辺会議では皆様

の活発な意見により、事業を 1 年間実行することができたと感じております。

何回炉辺会議に参加したか覚えていませんが、とにかく多くの炉辺会議を実施しました。8 クラブを担当することになり、それぞれの委員会に足を運ばなければならなかったのですが、荒川さんの時に 1 回だけ欠席してしまつたことを今でも申し訳なく思ひしております。申し訳ありませんでした。今年度は 35 周年もあり、各委員長の皆様も忙しかつたと思ひます。クラブ運営と並行して活動するのは大変だつたと思ひますが、皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。

この 1 年間、皆様から多くのことを教えていただきました。また来年に向けて新たな気持ちで頑張っていきたいと思ひます。委員長をはじめ会員の皆様、1 年間ありがとうございました。

石岡 孝光 SAA



本来であれば、今年度の SAA は今日司会をしている本田さんが務める予定でしたが、年度前に交通事故に遭い、復帰までに時間がかかるということで、急遽私が引き継ぐことになりました。本田さんの体調を考え、私が頑張ることを決意しました。

SAA のメンバーは、本田さん、佐藤さん、佐伯さん、曳地さん、須田さん、犀川さん、志賀さん、小島さん、そし

て私の 9 人で務めました。基本的な業務は、例会や会合の準備、設営、片付け、司会進行を行いました。ただ、今年度は全員が SAA として役割を担う形にし、責任と自覚を持って活動しました。これがうまくいったかどうかは私たち自身では判断しにくい部分もありますが、大きなトラブルもなく無事に終えられたのは、会長、幹事をはじめとする理事、役員の皆様、全会員の皆様、そして事務局の羽鳥さんのご協力のおかげです。1 年間、本当にありがとうございました。

曳地 義正情報委員長



最初、情報委員会が何をやるのか具体的に分からなかったのですが、基本方針を決めました。「会員及び会員候補者に、あらゆるレベルのロータリー活動に有益な情報を提供し、ロータリアンとしての資質の向上を目指すこと。また、会員増強にも協力すること」

を目標としました。

事業計画としては、「各委員が交代でロータリーの歴史や活動に関する情報を提供し、会員の資質向上を図ること、新会員や 3 年以内の会員対象にオリエンテーションを企画し、ロータリークラブ会員の目的や責務を理解してもらうこと、会員候補者にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員増強に協力すること」といたしました。

実際の活動としては、去年の 11 月 6 日（月）に青葉会と合同で炉辺会議を開催し、懇親を深めました。今年の 5 月 8 日（水）には 2750 地区の会員委員会の川村委員長を招き、ロータリー活動についての理解を深める卓話をして頂きました。これらの活動を通じて、会員の皆様に有益な情報を提供できたと思います。

重森 元樹出席委員長



まずは、出席委員会の皆様、1 年間お世話になりました。ありがとうございました。若輩者の私が 1 年間委員長を務められたのは、皆さんの支えがあったからだと思います。非常に心強く、感謝しております。

出席委員会の役割といたしましては、毎週の出席の案内と集計があります。参加者は 7 名で、出席の案内や集計に関しては滞りなくできたのではないかと考えております。また、出席率の向上という課題もありましたが、正直なところ、まだ課題が残っています。出席率の向上の方法として、出席をきちんと数えようということで、1 年間実践しました。しかし、1 年間ずっと集計し続けるのは非常に大変で、漏れてしまうことも多かったと思います。それでも、例年よりも 100 パーセントの出席の方が多かったと感じています。

コロナが収まり、対面での例会ができるようになり、事業計画で書いたウェブの例会は今年には行わない方針を受けました。対面での例会が再開され、顔を合わせてご飯を食べながらの交流が一番良いと感じました。こうした楽しい雰囲気は多くの皆さんに感じ取っていただければ、来年以降も出席率が上がると思います。1 年間集計させていただきましたので、来年の初例会の時に 100 パーセントの出席率を発表させていただきます。おそらく例年よりも高い出席率で発表できると思いますので、皆さん楽しみにしててください。

寺木 正人青葉会委員長



青葉会は委員会ではありませんので、事業計画そのものはありませんでしたが、活動方針の発表の際にお話ししました情報委員会の皆様との合同炉辺会議を実施いたしました。去年の 11 月 6 日（月）に行い、当時の青葉会のメンバーは 14 名でした。そのうち 13 名が出席し、炉辺会議を行いました。

会議では、ベテランの先輩の皆さんもいらっしゃり、青葉会のメンバーから自由にロータリーについての質問や疑問点を発言していただきました。主な内容としては、奉仕活動に関する質問が多くありました。「昭島中央ロータリーで行っている奉仕活動、野球教室や車いすを送る活動の他に何がありますか？ボランティアで特に力を入れているものは何ですか？昭島中央ロータリーの特色は何ですか？」などの質問がありました。

また、委員会のメンバーの決め方、例会の席の配置、今年度の始まりがなぜ 7 月なのか、例会での話の内容の決め方など、様々な質問が出ました。それに対して、体験談などを交えて先輩の皆様からお答えいただきました。反省点といたしましては、当初の活動方針で触れましたロータリークラブの目的や使命、歴史についての勉強が実施できなかったことです。今後の青葉会の課題として取り組んでいきたいと思っております。活動報告は以上でございます。1 年間、ありがとうございました。

柴田 智幸親睦委員長



先ず以て、若杉クラブ管理運営委員長、石岡副委員長、宇田川委員、菅野委員、北島委員、途中から高田委員、桜井委員、鈴木栄委員、田畑委員、塚田委員、内藤委員、中澤委員、水田委員、本田委員、1 年間本当にありがとうございました。今年は初めて親睦委員長を務めましたが、35 周年が春先に控えており、皆さんをどう盛り上げていくかを考えておりました。順番にご報告いたします。まず最初に、10 月 15 日（日）、16 日（月）に、親睦旅行を開催しました。例年は 6 月に行っていたものを、今年は 10 月に変更しました。行き先は鳥取と足立美術館、そして島根の出雲大社でした。参加者は 37 名で、出雲大社では星野初代会長に大変お世話になり、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。出雲大社では、普段は入れないような場所に全員で入ることができました。私は若輩者ながら委員長ということで、特別なおみごころも着せていただき、お参りをしました。戻った後すぐにその効果が現れ、仕事などで縁結び

のご利益を感じました。非常に楽しい思い出です。

12 月 13 日（水）のクリスマス礼会では、若杉クラブ管理運営委員長にお世話になり、五十鈴ココさんをお呼びしてコンサートを開催しました。参加人数は 70 名で、非常に多くの方に参加していただきました。

最後に、3 月 27 日（水）に車屋で観桜例会を開催しました。翌月に 35 周年が控えていましたので、決起大会的な意味を込めて行いました。参加人数は 42 名でした。その他にも懇親会のお手伝いをすることができました。初めての親睦委員長として、非常に充実した 1 年でした。皆様と共にこれからもう一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平畑 秀東長期計画委員長



お久しぶりです。昨年の暮れから体調を崩し、4 か月ほど入退院を繰り返していましたが、やっと元気になりました。一時は 85 キロだった体重が 55 キロまで減り、30 キロも痩せました。体調が悪いので、なるべく夜遅くに皆さんに迷惑をかけないようにしていましたが、今後も活動は頑張っていきたいと思っております。

長期計画委員長として 2 つの目標がありました。まずは 35 周年を成功させること。これは鈴木委員長のおかげで大成功に終わりました。もう 1 点は、この例会場が今後どうなるかということです。今年度は一応目途が立ちましたので、長期の計画としてこの 2 つを達成できたことに満足しています。

来年度は色々大変な長期計画委員長になると思いますが、頑張ってください、助言できることがあれば助言していきたいと思っております。例会場の件については、皆さんに協力してもらいながら進める必要があると思っております。会長にはこのことも含めて皆さんと協議し、良い例会場を考えていただければと思います。星野会長が色々計画を進めていますが、相手がいることなので、どこまで進められるかわかりません。今年度は自分なりには何もできませんでしたが、目標を達成できたことに安心しています。どうも 1 年間ありがとうございました。

須田 宏樹ロータリー財団委員長



基本方針として、財団の活動を推進すること、こちらに事業内容が書かれていますが、私も本年度より財団の資金推進委員長という役職に就きました。以前はよく分かっておりませんでした。毎月ガバナー宛に、2750 地区の寄付状況をマイロータリーからレポートする仕事がありますので、理解していかなければなりません。

皆さんにロータリー財団を理解してもらうため、特に本年度は各財団委員長や副委員長と共にプレゼンテーションの機会を設けました。各 2750 地区の財団委員に対して、田中委員長をはじめ、私も出席し説明しました。

私達、昭島中央ロータリークラブの年次基金についてご報告させていただきます。目標は、毎年 150 ドル×7 月の会員数で約 130 万円でしたが、本年度は 120 パーセント達成し、150~160 万円近くの寄付をいただきました。ポリオプラスについても 1 人 30 ドルの目標がありましたが、こちらも達成し、110 パーセントの寄付をいただいております。これも皆さんのご協力の賜物です。引き続きご寄付をお願いしたいと思います。寄付は第 2 の奉仕です。様々な基金の源泉になっており、ロータリー財団が運用して、例えば車椅子の事業やグローバル補助金などの元になります。

4 月末現在、2750 地区で約 1 億 6000 万円の寄付が集まっており、これは日本で 1 番の寄付額となっています。日本全体では約 22 億 2000 万円が集まっています。非常に大きな金額です。本年度の皆さんのご協力に感謝し、次年度も地区の資金推進委員長として、財団の理解を深める活動を続けていきたいと思っております。本年度はご協力ありがとうございました。

ニコニコ BOX

(菅野 晋央親睦委員)



◎伊藤満雄様
長らく欠席しました。

○岡野会長
各委員長、ご報告ありがとうございました。来週は最終例会です。ご出席の程、どうぞよろしくお願いいたします。

・指田幹事
各委員長の皆様 1 年間本当にありがとうございました。卓話よろしくお願ひいたします。

出席報告

(中園 裕出席委員)



会員数	55 名
出席義務会員	54 名
本日の出席	37 名

委員会報告

(荒川 義昭プログラム委員長)



6 月 26 日 (水)
2023-24 年度最終例会
「1 年を振り返って」

閉会点鐘

(岡野 景子会長)